

文化芸術部会における検討状況について

1 文化芸術部活動の状況

(1)活動状況 各学校に単独部活動が設置されている。

【吹奏楽部】

・各学校においてコンクールやイベントに向け、平日休日ともに活動

【美術部・ボランティア・コンピュータ】

・主に平日の放課後に活動

・製作活動や自主的な活動など多様な取り組み

(2)吹奏楽部顧問からの聞き取り

・楽器ごとに専門性が高く、指導が難しい

・拠点校部活動の実施はすべての楽器を保管し、パート練習・全体練習ができる場所の確保、楽器を含めた学校間の移動への対応が必要。また、拠点校となった教員への負担が大きい。

・土日と平日で指導者が変わることは、指揮や指導の都合で活動に支障をきたす

2 文化芸術部会での検討状況

(1)主な意見

・パソコン、美術、ボランティアは個人の嗜みとして考えられる。

・吹奏楽部と他の部活動では、活動内容が異なるため、それぞれの方法で地域展開に取り組むことも考えられる。

・吹奏楽のなかでも本気で取り組みたい生徒や個人の嗜みとしてやりたい生徒もいる。

・吹奏楽を楽しむ場所として活動場所を作るという考え方もできるのではないか。

・本気でやりたい子どもは地域の団体に加入することもできる。

・エンジョイ型で多種多様な経験が得られることが提供できれば、部活動の種目だけではなく、活動が広がる可能性がある

(2)地域展開の目指す形

生徒のニーズやベクトルにあった活動ができるよう、2つの活動環境を構築することを目指す。

○スキルアップ型 地域団体等と連携し、個人や団体のスキルアップを目指す。

○エンジョイ型 年間を通して多様な文化芸術活動を行えるプログラムを作成し、文化芸術活動を楽しむ。

(3)課題・懸念

・吹奏楽の課題に対する検討

(指導者の確保、活動場所の確保、楽器の移動・保管・管理、初心者への指導、コンクールの参加)

・関係団体との意見交換